

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 04-085695

(43)Date of publication of application : 18.03.1992

(51)Int. Cl.

G07F 11/72

G07F 11/00

(21)Application number : 02-199190

(71)Applicant : HITACHI LTD

(22)Date of filing : 30.07.1990

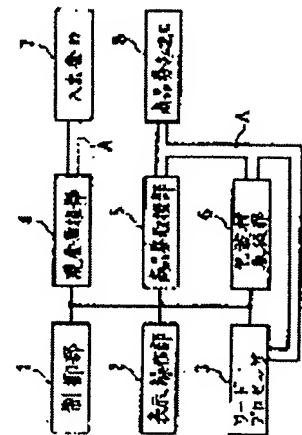
(72)Inventor : TAMURA TOSHIO
UEDA AKIHISA

(54) AUTOMATIC GIFT CERTIFICATE VENDING MACHINE

(57)Abstract:

PURPOSE: To improve customer convenience by storing and selecting a packaging material, packaging gift certificates, and discharging the package from an article discharge opening.

CONSTITUTION: Respective parts such as a gift certificate handling part 5 and a packaging material handling part 6 operate with commands from a control part 1 which are based upon a display operation part 2 in response to cash thrown in or through a transaction medium. Then conditions such as the kind and quantity of gift certificates and the selection of a packaging material are selected, the gift certificates are packaged and discharged in a gift shape from the gift certificate discharge opening 8. Consequently, the gift certificates can be used as a gift and the utilization value of the automatic vending machine is improved.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

⑫ 公開特許公報(A) 平4-85695

⑬ Int. Cl.⁵G 07 F 11/72
11/00

識別記号

C

庁内整理番号

8208-3E
8208-3E

⑭ 公開 平成4年(1992)3月18日

審査請求 未請求 請求項の数 4 (全4頁)

⑮ 発明の名称 商品券自動販売機

⑯ 特 願 平2-199190

⑰ 出 願 平2(1990)7月30日

⑱ 発 明 者 田 村 俊 夫 新潟県北蒲原郡中条町大字富岡46番地1号 株式会社日立製作所中条工場内

⑲ 発 明 者 上 田 晃 久 新潟県北蒲原郡中条町大字富岡46番地1号 株式会社日立製作所中条工場内

⑳ 出 願 人 株式会社日立製作所 東京都千代田区神田駿河台4丁目6番地

㉑ 代 理 人 弁理士 中村 純之助 外1名

特許法第65条の2第2項第4号の規定により図面第3図の一部は不掲載とする

明 細 書

1. 発明の名称

商品券自動販売機

2. 特許請求の範囲

1. 現金の入金と出金を行なう入出金口と、

前記入出金内容を計数する現金取扱部と、

商品券の種類・枚数を含む入出力内容を表示

すると共に入力操作を行なう表示・操作部と、

商品券を収納すると共に払出すべき商品券を

選別する商品券取扱部と、

包装材を収納すると共に前記包装材を選択する包装材取扱部と、

前記商品券を包装して商品払出口から払出す手段と、

前記各部を制御し指令する制御部を備えていることを特徴とする商品券自動販売機。

2. 取引媒体を挿入する媒体挿入口と、

前記取引媒体の情報を読み取り照合する媒体取扱部と、

商品券の種類・枚数を含む入出力内容を表示すると共に入力操作を行なう表示・操作部と、

商品券を収納すると共に払出すべき商品券を選別する商品券取扱部と、

包装材を収納すると共に前記包装材を選択する包装材取扱部と、

前記商品券を包装して商品払出口から払出す手段と、

前記各部を制御し指令する制御部を備えていることを特徴とする商品券自動販売機。

3. 前記包装材に印刷する手段を有することを特徴とする請求項1または請求項2記載の商品券自動販売機。

4. 前記商品券の利用店舗名の一覧表を出力することを特徴とする請求項1～請求項3の何れかの項に記載の商品券自動販売機。

3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本発明は自動販売機に係り、特に商品券またはギフト券(以下一括して商品券という)を販売す

る商品券自動販売機に関する。

〔従来の技術〕

従来の自動販売機は、顧客が購入を希望する商品を対象として自動販売を行なう機械であって、現金の投入により所望の商品と釣銭が放出される。この種の装置として関連するものには例えば、特公昭57-49952号公報記載の切手あるいは印紙等の自動販売機が挙げられる。

〔発明が解決しようとする課題〕

従来技術は、商品単体を放出するのみで商品の包装及びこれに付随するサービスについては配慮されていないから、その商品を贈答用として使用する場合には、自動販売機から放出された商品の包装やメッセージなどは顧客が手配しなければならず、店頭での購入に比べると不便であり利用価値が少なかった。また贈答品が商品券である場合には、利用可能店舗の範囲が明確でないと贈られた側としては、利用に不便であるなどの問題点があった。

本発明は、上記の問題点を解決するため、商品

券と商品券に適切な包装袋または箱、メッセージ、利用店舗一覧表等を、顧客の選択指定により放出可能な商品券自動販売機を提供することを目的とする。

〔課題を解決するための手段〕

上記目的は、現金の入金と出金を行なう入出金口と、前記入出金内容を計数する現金取扱部と、商品券の種類・枚数を含む入出力内容を表示すると共に入力操作を行なう表示・操作部と、商品券を収納すると共に払出すべき商品券を選別する商品券取扱部と、包装材を収納すると共に前記包装材を選択する包装材取扱部と、前記商品券を包装して商品払出口から払出す手段と、前記各部を制御し指令する制御部を備えていることを特徴とする商品券自動販売機、若しくは前記入出金口及び現金取扱部に代えて媒体挿入口及び媒体取扱部を備える商品券自動販売機により、また前記包装材に印刷する手段、商品券の利用店舗名の一覧表を出力する手段を選択付加することによって達成される。

〔作用〕

上記構成の商品券自動販売機は、現金投入若しくは取引媒体を介し、かつ、表示・操作部に基づく制御部からの指令により、商品券取扱部、包装材取扱部などの各部が動作し、商品券等の種類と枚数、包装材の選択などの条件選が実行され、商品券の包装と顧客の選択によりメッセージなどを添えて贈答品の形態を整え商品払出口から払出される。

〔実施例〕

〈第1実施例〉

以下、本発明の第1実施例を第1図、第2図、第3図、第4図により説明する。第1図は第1実施例のブロック構成図であり、制御部1、表示・操作部2、ワードプロセッサ3、現金取扱部4、商品券取扱部5、包装材取扱部6、入出金口7、商品券払出口8から構成され、商品券、包装材等の移動制御系Aにはロボットハンドを使用する。第2図は本実施例の商品券自動販売機の外観斜視図、第3図は本実施例により放出された商品券を

示す外観斜視図、第4図は第1実施例の取引フローチャートである。

第1図において、顧客が入出金口7から現金の入金操作をする（ステップ10以下S10と記し他のステップも同様に記す）と、現金は現金取扱部4へ送られて計数され、表示及び顧客操作部2に商品券選択画面が表示される。顧客が商品券の種類（銘柄別、金額別など）および所要枚数を選択（S20）すると、商品券取扱部5で払出しの準備を行ない、顧客は、表示画面により袋または箱など包装の選択に移る。包装の選択（S30）を行なうと包装材取扱部6で払出しの準備をなし、表示はメッセージ要・不要を指定する画面に変わる。メッセージ要・不要の指定（S40）で要の場合には、ワードプロセッサ3と連動し、メッセージ（例えば入学祝、御礼等）や氏名（贈り主）を入力（S50）し、プリントアウト（S60）を経て、表示は店舗一覧表の要・不要を指定する画面に移る（メッセージ不要の場合、S50、S60は割愛する）。メッセージや氏名は、包装

袋または包装箱に直接に印字するか若しくは印字した用紙を包装袋または包装箱に貼付する。店舗一覧表要・不要の指定(S70)で要の場合、使用する商品券の種類や地域等の条件を選択

(S80)し、プリントアウト(S90)を経て、商品券の包装(メッセージ付)、店舗一覧表は商品券払出口8に、釣銭は入出金口7に放出する

(S10)。商品券・店舗一覧表を包装袋または箱に入れて放出する場合、顧客が包装の内部を確認してから封印ができるように、第3図のように半開または半封印状態で放出する。店舗一覧表は商品券に添付され、贈答先で利用するに便利な地域の店舗を選択するように必要な情報だけをプリントアウトするようになっている。

なお、ワードプロセッサ3は単なるプリンタであってもよく、その場合はメッセージや氏名はあらかじめサンプルを用意しておき、顧客の選択により印字することが好ましい。

また第3図(a)のように、商品券は所定の包装箱に「のし紙」を貼付し、または第3図(b)

のように「のし袋」内に収納し、「のし紙」や「のし袋」にメッセージや氏名などをプリントアウトしてもよい。

〈第2実施例〉

第2実施例は、例えばプリペイドカードの利用、または特定の取引カードと暗証入力により直接現金を使用しない取引による商品券自動販売機の実施例である。第6図に示す商品券自動販売機は入出金口7のほか媒体挿入口9を有する。また第5図は第2実施例の商品券自動販売機のブロック構成図、第7図は第2実施例の商品券自動販売機のフローチャートを示す。作用効果は第1実施例に準ずる。

〔発明の効果〕

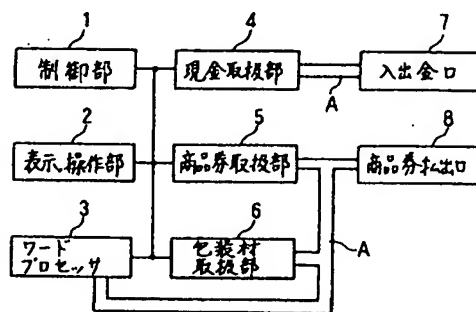
本発明の商品券自動販売機により、商品券を包装袋または箱に収納し、贈答に付随するメッセージ、氏名、利用可能店舗の一覧表等を同時に出力して販売することができ顧客の利便性向上に極めて効果的である。

4. 図面の簡単な説明

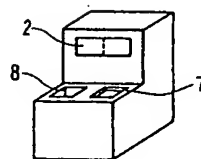
第1図は本発明の第1実施例の商品券自動販売機のブロック構成図、第2図は第1実施例の外観斜視図、第3図は包装商品券の一実施例を示す外観斜視図、第4図は第1実施例の取引フローチャート、第5図は第2実施例の商品券自動販売機のブロック構成図、第6図は第2実施例の外観斜視図、第7図は第2実施例の取引フローチャートである。

- | | |
|------------|----------|
| 1…制御部 | 2…表示・操作部 |
| 3…ワードプロセッサ | 4…現金取扱部 |
| 5…商品券取扱部 | 6…包装材取扱部 |
| 7…入出金口 | 8…商品券払出口 |
| 9…媒体取扱部 | 10…媒体挿入口 |

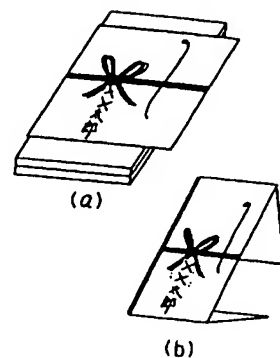
代理人 弁理士 中村 純之助



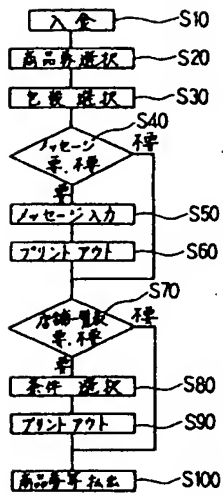
第1図



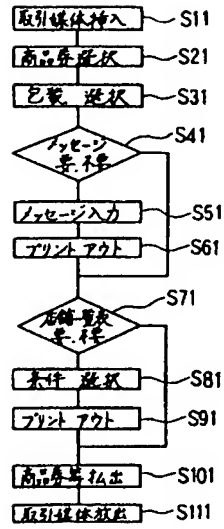
第2図



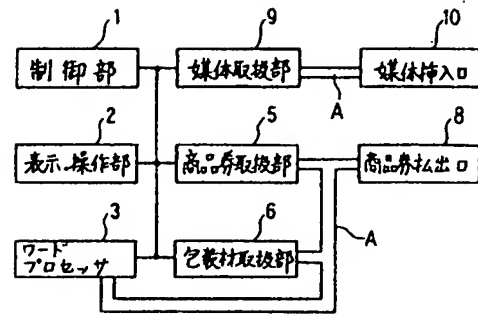
第3図



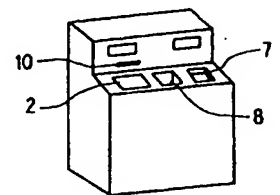
第 4 図



第 7 図



第 5 図



第 6 図